

令和6年度 経営発達支援計画計画 事業評価報告書

評価検討委員会

経営発達支援計画の遂行状況につきまして、次の通りご報告致します。

【評価の目安】

A: 実施達成している B: 概ね実施している C: どちらかと言えば出来ていない

【経営発達支援事業の内容】

委員会総合評価

項目	委員評価	評価委員コメント
地域の経済動向分析に関すること	A	経済レポート、景気動向調査とも、計画どおり適正に公表されている点を評価しAとする。景気動向調査における独自質問については、人手不足や関税の影響等、小規模事業者にとって関心の高い調査事項を盛り込むことを引き続き期待する。
需要動向調査に関すること	A	市場情報、ニーズ調査結果とも計画どおりに実施。また、令和5年度は計画を下回ったニーズ調査結果も達成されている点も評価しAとする。
経営状況の分析に関すること	A	計画どおり適正に実施。経営分析については40者という高い計画であったが、達成されている点も評価しAとする。
事業計画策定支援に関すること	A	事業承継計画策定件数は計画を下回ったものの、セミナー回数は計画値を超えて実施されていること、セミナーテーマも小規模事業者にとって関心の高い内容が選定されていることを評価しAとする。事業承継計画策定については、潜在ニーズは未だ十分にあると思われることから、引き続き活動をお願いしたい。
事業計画策定後の実施支援に関すること	A	フォローアップ対象事業者数は下回ったものの、売上・利益増加事業者数が計画を上回った点を勘案すると、1事業者に向けた支援の質は高かったものと評価。フォローアップは事業者にとって大変有意義であることから、令和7年度は事業者数の計画達成も期待しAとする。
新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	B	計画を下回った項目もあるが、計画自体の難度が高い点を考慮。実施した取組は評価できるものであり、B評価とする。
事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	A	適正に評価検討委員会を実施。令和5年度の課題を令和6年度の活動に活かす等の取組みも評価しAとする。